

イベント紹介

●SWEET HOME(スイートホーム)●

ベビー&キッズのえいご de アクティビティ & 英会話サークル

【レッスン】※イベントバージョンです。通常レッスンとは内容が異なります。

1. えいご de ベビマ(首がすわってから～あんよ前の赤ちゃん)
2. おやこ de 英会話レッスン(0才～未就学のお子さん)
3. えいご de ヨガレッチ(おすわり～1才半くらいの赤ちゃん)

【日時】5月17日(土)※いずれか1つまたは全てにご参加もOK!

1. 13:20～14:10 2. 14:40～15:20 3. 15:50～16:40

【料金】各1,000円/1家族 ※パパ・ご兄弟(姉妹)もご参加OK!

【会場】志村坂上地域センター和室B (小豆沢 2-19-15)

【詳細・申込】 <http://www.sweethome33.jp> 又は 070-6451-8113(伊藤)

●マザーグースの会●

英語でマザーグース!

○季節にちなんだ童謡や手遊びなどを英・日で紹介

【日時】①5月10日(土)10:00～11:00

②5月24日(土)10:00～11:00

【会場】①志村坂上地域センター和室小 (小豆沢 2-19-15)

②下板橋駅前集会所 2F 和室 (板橋 2-3-1)

【対象】0才～幼児親子 【参加費】 各回 500円

【申込・問合せ】080-5387-0295 (竹内) takeuchi426@gmail.com

●淑徳大学 東京キャンパス ボランティアセンター●

子育て応援ぶち・びち

○パネルシアターで楽しもう!

【日時】5月24日(土)13:30～15:00

【場所】淑徳大学東京キャンパス 1号館 3階カフェテリア(前野町 6-36-4)

【対象】乳幼児～小学生低学年(乳幼児は保護者をご参加下さい)

【申込】20日までにメールか FAX で(保護者氏名・お子さんの氏名・年齢・住所・連絡先)お申し込み下さい。【参加費】保険代 30円/1人

【申込・問合せ】淑徳大学 東京キャンパス ボランティアセンター

TEL3966-7602 FAX3966-7695 E-mail ryuuno@jc.shukutoku.ac.jp

●みなみ板橋おやこ劇場●

Doki Doki キッズ

みんなであそぼ・のんびりおしゃべり

平成26年4月からスタートしました。

【日時】5月8日(木)・22日(木)10:00～12:00(毎月2回第2・第4木曜日)

【会場】七軒家公園集会所 2F 和室

【参加費】月会費 1家族 500円(初回体験可)

【申込・問合せ】TEL3933-7824 又は 090-5790-8659(佐野)

●多言語ひろば●

世界の言葉で遊ぼう!

○親子一緒に多言語遊び:世界の音楽を聴きながら手遊び、ダンス等、身体を動かしながら世界の言葉をGet!

○赤ちゃんのことばの不思議:自然に育つ母語の発達をおしゃべり!

【日時】①5月23日(金)②5月27日(火)10:00～11:00

【対象】0才～未就園児の親子

【会場】①南板橋公園内集会所

②東武練馬 保育園ペリイバンピーニ(徳丸3丁目10-11 徳丸学院ビル1F)

【参加費】親子一組 200円 ※年会員になると割引制度あり

【申込・問合せ】TEL080-4119-0209(小宮) oyuki.k.comic.f@gmail.com

●NPO 法人 徳丸子どもセンター●

親子集いの広場

○さつまいもの苗を植えよう 5月12日(月)10:30～14:00

○公園遊び 5月26日(月)10:30～14:00

【会場】徳丸ヶ丘集会所 2階 【参加費】300円

【持ち物】お弁当・飲み物 【申込・問合せ】TEL6751-5934(山中)



リレー連載 子育てコラム (86)



ひろばもこもこ(フリースペースのきした)

佐藤キミ男

いまの社会において、子どもはほんとうに大切にされているのだろうか?こんな問いかけをあえてすることが、私たち大人に対して何かを喚起するのかわかりませんが、テレビから入ってくる情報や新聞で目にする記事には、つくづく切ない子どもの様子を伝えるものがあまりにも多くなっています。どうかしなければと思いつつ、なかなかアイデアがでない自分にいらだちすら感じてしまうこともあります。それでも先日、ランドセルに黄色いシートを貼り付けた下校途中の二人の小学生が大きな声で、「ありの—まの—♪」と歌いながら並んで歩いている姿を見かけ、またここでは、つくづく悲しい状況とは違ったところでたくましく生きている子どもたちの姿があることに少しだけ安心します。

「もこもこ」に来てくれている子どもたちを取り巻く環境もじつに様々です。必ずしも「恵まれた」環境にある子どもたちばかりではありません。我慢しなければならぬことも、きっとたくさん経験しているはずなのに、私たちと過ごすときは皆元気で楽しそうです。じつはそんな子どもたちに私たちのほうが元気づけられているのかもしれない。

「もっとがんばれ!」と大人が無意識に口にしてしまうようなことを子どもはけして言いません。大人が「頑張っている姿」を子どもはちゃんと見てわかっているからでしょう。子どもは大人が存在がなければ生きていけないことを知っています。大人も、子どもの存在があって生かされていることをあらためて見つめなおす時が来ているように思います。



■ 編集後記

開花宣言からあつという間に満開になり、雨や嵐に耐えていた桜も鮮やかな新緑の木になりました。保育室になかなか慣れずにいた新入園児もだんだんと保育者や生活のリズムに慣れて確実に前進していることを日々実感しています。少しずつでもいから動いてさえいれば前進はするものだと最近悟りました。(お)

◎問合せ:事務局 竹内雅子

TEL&FAX3962-7008 takeuchi426@gmail.com